



熊本市 感染症発生動向調査 速報



★伝染性紅斑（りんご病）があと少しで警報レベル（定点当たり 2.0）になります!!★

・予防法としては手洗いが基本です。特に妊婦さんは体調を崩していることのお世話の後は、通常以上の手洗いの徹底や、食器の共有をしない。学校など流行している場所へは、流行が終息するまでの間、妊婦さん等は施設内に立ち入ることを出来る限り避けるか、マスクを装着しましょう。

トピックス 感染性胃腸炎（ウイルス性胃腸炎）について

ウイルス性胃腸炎は、ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルスなどのウイルスの感染で起こる胃腸炎です。吐き気や嘔吐、下痢、腹痛、発熱などが起こります。ノロウイルスによる胃腸炎では、小児では嘔吐、成人では下痢が多い傾向にあります。ロタウイルスによる胃腸炎では、嘔吐、下痢（白色便）、発熱がみられ、乳児ではけいれんを起こすこともあります。

・感染経路…病原体が付着した手で口に触れることによる感染、吐物や便を介しての感染、または汚染された食品を食べることによる感染があります。

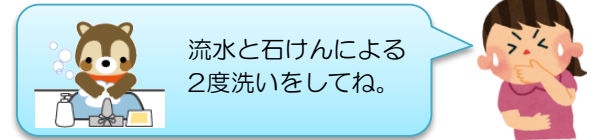
・流行期……ノロウイルスによる胃腸炎は11月～3月、ロタウイルスは2～3月に多い傾向があり、アデノウイルスは年間を通してみられます。

◆かかったらどうすればいいの？

- ・特別な治療法はなく、症状に応じた対症療法がおこなわれます。
- ・乳幼児や高齢者では、下痢などによる脱水症状をおこすことがありますので、早めに医療機関を受診しましょう。特に高齢者では、吐物が気管に入り誤嚥性肺炎をおこすことがあるため、様子の変化に注意しましょう。
- ・嘔吐の症状がおさまったら、少しずつ水分を補給し、回復してきたら消化の良い食事を取り、安静に努めましょう。

◆予防法は？

- ・帰宅時や食事の前、トイレの後に、流水と石けんでよく手を洗いましょう。
- ・二次感染を防ぐため、患者の便や吐物の処理は、直接触れないよう使い捨て手袋やマスクを着用し、汚染された衣類や床などは、次亜塩素酸ナトリウムや熱湯等でしっかり消毒しましょう。



期 間		2019年 43週		2019年 44週	
		10/21～10/27		10/28～11/3（最新）	
疾患名 <small>（百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました）</small>	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		32	1.28	20	0.80
RSウイルス感染症		4	0.25	9	0.56
咽頭結膜熱（プール熱）		9	0.56	7	0.44
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		13	0.81	22	1.38
感染性胃腸炎		68	4.25	102	6.38
水痘（みずぼうそう）		1	0.06	3	0.19
手足口病		24	1.50	7	0.44
伝染性紅斑（りんご病）		23	1.44	28	1.75
突発性発しん		11	0.69	4	0.25
ヘルパンギーナ		1	0.06	2	0.13
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）		0	0.00	0	0.00
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎（はやり目）		17	3.40	11	2.20
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		0	0.00	1	0.20
マイコプラズマ肺炎		1	0.20	0	0.00
クラミジア肺炎（オウム病を除く）		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎（ロタウイルス）		0	0.00	0	0.00